

# 令和6年度 只見町地域学校保健委員会 記録

日 時：令和6年11月25日（月）  
14：30～16：30

## 1、開会

## 2、町校長会長あいさつ

## 3、報告・協議

- (1) 健康診断結果から見える児童・生徒の現状と問題点
- (2) 性に関する指導の実際



## 4、講演

- (1) 講話「性に関する現状と今後の性に関する指導の必要性」  
NPO 法人はーぐる 小林 さやか 様より

- ・児童養護施設で、コンドームの使い方も紹介した。ワークショップ。
- ・性情報についての周知活動を行っている。ナプキンケーキ、性教育ぬりえ。
- ・性教育についての勉強会・情報交換会を郡山市、須賀川市で行っている。
- ・児童虐待による死亡事例が年間10名。
- ・新生児遺棄疑いで20歳母親逮捕（事例）  
→学校は気がついてた。  
→相談ができなかったのと、周りの人が気づくことができなかったのではないか。
- ・性に関する相談(2020.9～)  
昔は電話やメールが多かったが、最近はライン相談も可能。  
397件（男性が2割で、中絶に関する相談がほとんど）
- ・避妊といえば「コンドーム」使い方は正しくできるのか。  
コンドームを正しく使わなかった人が、アフターピルを飲むことに。
- ・アフターピルの処方。処方箋必要。（日本だけ）世界の国では薬局で購入可能。
- ・初期中絶は15万ほどかかる。
- ・妊娠がばれるくらいなら、自殺しますと言った相談も。周りに知られたくない。社会に受け入れてもらえないのが現状にある。
- ・これからは、大人が知識をアップデートしていく必要がある。

## (2) 質疑・応答

Q 保育所で性教育の最初の一步として、どんなことがありますか？

- 大人が話す。教えてあげることが子どもたちには必要。おむつ交換時。プール時等
- 着替える時は、気になる子はパーテーションで分けてもよい。
- 子どもが興味なくても、体のことについて話す時間を作ってみてもよい。

Q 実際に性的な言葉をみんなの前で言っている児童に対する具体的な対応は？

- 子どもが性的な発言をした時は、どこからの情報なのかを聞いたり、他の児童がどんな気持ちになったかなど、オープンな話し合いをしたりしてみる。
- 言って良い時と悪い時を理解して判断できるような声かけをしてみる。



## 5 医薬品について

- 緊急避妊薬「OC」「LEP」の2種類がある。
- 「OC」…女性が主体的に避妊できる。自費診療（3割負担で購入可能）
- 服用は21錠タイプと28錠タイプがあるが、最近では連続服用タイプのピルも。
- 副作用としては、頭痛、だるさも伴うが、血栓症のリスクも高まる。
- 緊急避妊薬は72時間以内に服用すること。只見町のあいあい薬局にも備蓄薬がある。
- オンライン診療可能の医療機関（福島県内ではあまりない）若松市内では、3件ほどある。
- いわき市内では、薬局で購入できるように試験的に行われている。現実的にはまだまだ。
- 子ども達だけでなく保護者にも正しい知識をもってもらうことが子ども達の幸福につながるのではないか。
- 避妊=コンドームだけではない。女性主導の避妊方法が普及すべきではないか。

## 6 閉会